

中国文学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
中国文学概論	中国古典詩歌文学史	2	矢田 尚子	4	木曜1限
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	高崎 駿士	3	金曜3限
中国文学基礎講読	現代文読解による中国語 実用文法研究	2	矢田 尚子	4	水曜4限
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	3	火曜5限
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	4	火曜5限
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	5	火曜4限
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	6	火曜4限
中国文学各論	中国語音1200年史 ―唐 から現代まで―	2	千葉 謙悟	5	集中講義
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	5	金曜2限
中国文学演習	中国近現代文学研究	2	講師(非)	6	水曜2限
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	6	金曜2限
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	5	月曜5限
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	6	月曜5限

科目名：中国文学概論

曜日・講時：木曜 1 限

セメスター：4 **単位数：**2.00 単位

担当教員：矢田 尚子

コード：LB44101, **科目ナンバリング：**LHM-LIT202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国古典詩歌文学史

2・授業の目的と概要：【目的】

1. 中国の先秦時代から唐代に到るまでの古典詩を読み、理解を深める。
2. 同時に、いわゆる「漢文」の構造や訓読法、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえる。

【概要】

中国文学の中でも、特に先秦から唐代までの古典詩歌文学に焦点を絞り、時代・ジャンルごとに重要事項について学習する。実際に代表的な作品を実際に読み、その内容を理解する。

3. 学習の到達目標：・中国古典詩歌文学に関する基礎知識を身につける。

- ・中国古典詩歌のジャンルや修辞等の歴史的変遷について理解できるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 『詩経』（1）
3. 『詩経』（2）
4. 『楚辞』（1）
5. 『楚辞』（2）
6. 漢代の詩（1）
7. 漢代の詩（2）
8. 魏晋の詩（1）
9. 魏晋の詩（2）
10. 南北朝の詩（1）
11. 南北朝の詩（2）
12. 初唐の詩
13. 盛唐の詩
14. 中唐の詩
15. 晩唐の詩

5. 成績評価方法：授業に対する参加姿勢（30%）と課題提出（20%）及び最終レポート（50%）による。

6. 教科書および参考書：教科書は用いず、毎回配布する資料による。

参考書は、授業中に適宜紹介する。

7. 授業時間外学習：授業中に示した参考文献に目を通し、授業で得た知識を補い、作品をより深く広く理解する力をつけること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国文学基礎講読

曜日・講時：金曜 3 限

セメスター：3 **単位数：**2.00 単位

担当教員：高崎 駿士

コード：LB35304, **科目ナンバリング：**LHM-LIT213J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国語実用文法研究

2・授業の目的と概要：本授業では、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。なお、この授業は講読演習を兼ねています。

3. 学習の到達目標：(1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。

(2) 基礎的な作文能力を身につける。

(3) 基礎的な読解力を確実なものとする。

(4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業では教科書を使用し、以下のように進めていきます。

受講者には毎回の授業後に、課題の提出を求めます（提出方法は別途指示します）。

第一回 ガイダンス

第二回 第1課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第三回 第2課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第四回 第3課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第五回 第4課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第六回 第5課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第七回 第6課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第八回 中間試験

第九回 第7課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十回 第8課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十一回 第9課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十二回 第10課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十三回 第11課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十四回 第12課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十五回 期末試験

5. 成績評価方法：平常点（課題、小テスト）：60％、定期試験：40％

なお、定期試験を受けるには、3分の2以上の出席が必要です。

6. 教科書および参考書：教科書：内田慶市 / 奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著『中国語への道 ―浅きより深きへ―』金星堂

辞書：小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などをおすすめします。

7. 授業時間外学習：毎回、授業の内容及び課題、小テストに取り組むための予習復習を求めます。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国文学基礎講読

曜日・講時：水曜 4 限

セメスター：4 **単位数：**2.00 単位

担当教員：矢田 尚子

コード：LB43404, **科目ナンバリング：**LHM-LIT213J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：現代文読解による中国語実用文法研究

2・授業の目的と概要：【目的】中国語学習歴 1 年以上（中国語を母語とする者を除く）の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、中国文化への理解を深めるとともに、中国語発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

3. 学習の到達目標：①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。

②現代中国語の文法についての高度な知識を習得し、文章の文構造を把握できる。

③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 中国現代文読解（1）

3. 中国現代文読解（2）

4. 中国現代文読解（3）

5. 中国現代文読解（4）

6. 中国現代文読解（5）

7. 中国現代文読解（6）

8. 中国現代文読解（7）

9. 中国現代文読解（8）

10. 中国現代文読解（9）

11. 中国現代文読解（10）

12. 中国現代文読解（11）

13. 中国現代文読解（12）

14. 中国現代文読解（13）

15. 中国現代文読解（14）

5. 成績評価方法：授業参加態度（発音・翻訳・応答などを含む）により総合的に判断する。

6. 教科書および参考書：教材は授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：予習：単語の発音や意味を調べ、文構造や文法事項に留意しながら試訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造を正しく理解できるようにする。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語基礎演習

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：3 **単位数：**2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB32504, **科目ナンバリング：**LHM-LIT214J, **使用言語：**日本語／中国語

1. 授業題目：初級中国語

2・授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、学生生活にまつわる日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく習得することを目指す。

3. 学習の到達目標：1. 中国語の発音を弁別でき、ピンインの表記を熟知する。
2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

＜進度予定＞

第1回 オリエンテーション

第2回 発音（1）

第3回 発音（2）

第4回 第1課 何を食べるの？

第5回 第2課 それって中国語の新聞？

第6回 復習（1）

第7回 第3課 かわいい！

第8回 第4課 何人家族？

第9回 復習（2）

第10回 第5課 家はどこ？

第11回 第6課 ごはん食べた？

第12回 復習（3）

第13回 第7課 1枚あげるよ

第14回 第8課 ちょっと見せて

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：平常点：60%（課題、小テストなど）
期末試験：40%（口頭および筆記）

6. 教科書および参考書：『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016年

7. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、音声データを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国語基礎演習

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：4 **単位数：**2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB42502, **科目ナンバリング：**LHM-LIT214J, **使用言語：**日本語／中国語

1. 授業題目：初級中国語

2・授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。

前期で習得した中国語の発音と基礎文法を踏まえて、日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。

この授業を通じて、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく習得することを目指す。

3. 学習の到達目標：1. 中国語の音を聞いて、正確にピンインで書き取れる。

2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

＜進度予定＞

第1回 発音と文法の復習

第2回 第9課 中国語話せるよ

第3回 第10課 まだ食事中？

第4回 復習（1）

第5回 第11課 心配しないで

第6回 第12課 両親が帰ってくるようにって

第7回 復習（2）

第8回 ステップアップ1 どうやって解いたらいい？

第9回 ステップアップ2 起こされちゃった

第10回 復習（3）

第11回 ステップアップ3 出かけるんじゃないの？

第12回 ステップアップ4 全然知らなかった

第13回 復習（4）

第14回 音読練習

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：平常点：60％（課題、小テストなど）

期末試験：40％（口頭および筆記）

6. 教科書および参考書：『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016 年

7. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、音声データを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国文学各論

曜日・講時：火曜 4 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB52402, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2・授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえ、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。

3. 学習の到達目標：中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

第1回 ガイダンス

第2回 世界のなかの中国語(1)

第3回 世界のなかの中国語(2)

第4回 中国語の音(1)

第5回 中国語の音(2)

第6回 中国語の音(3)

第7回 中国語の音(4)

第8回 中国語の音(5)

第9回 中国語の文字

第10回 中国語の語彙(1)

第11回 中国語の語彙(2)

第12回 中国語の語彙(3)

第13回 中国語の語彙(4)

第14回 中国語の語彙(5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み：50%

課題：50%

6. 教科書および参考書：『中国語はじめの一步〔新版〕』木村英樹、筑摩書房、2017 年

7. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：教科書や関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国文学各論

曜日・講時：火曜 4 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB62403, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2・授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえ、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。

3. 学習の到達目標：中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

第1回 ガイダンス

第2回 中国語の文法(1)

第3回 中国語の文法(2)

第4回 中国語の文法(3)

第5回 中国語の文法(4)

第6回 中国語の文法(5)

第7回 中国語の文法(6)

第8回 中国語のパフォーマンス(1)

第9回 中国語のパフォーマンス(2)

第10回 中国語のパフォーマンス(3)

第11回 中国語のパフォーマンス(4)

第12回 研究論文(1)

第13回 研究論文(2)

第14回 研究論文(3)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み：50%

課題：50%

6. 教科書および参考書：『中国語はじめの一步〔新版〕』木村英樹、筑摩書房、2017 年

7. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：教科書や関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国文学各論

曜日・講時：集中講義

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：千葉 謙悟

コード：LB98809, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語/中国語

1. 授業題目：中国語音 1200 年史 ―唐から現代まで―

2・授業の目的と概要：この集中講義では数千年の歴史を有する中国語史のうち音韻史に焦点を当て、中古音・近世音・現代音について概説する。

3. 学習の到達目標：中古音・近世音・現代音それぞれの音韻体系の特徴を理解し、その史的変遷の概要を把握する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

講義を中心にグループワーク、質疑応答を加味する。

5. 成績評価方法：出席・授業参加状況・質問状況を総合的に判断する。

6. 教科書および参考書：資料を配付する

7. 授業時間外学習：授業後に授業内容を反芻し疑問点を整理しておくこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国文学演習

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：矢田 尚子

コード：LB55207, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語と中国語

1. 授業題目：楚辞文学研究

2・授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

3. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

5. 成績評価方法：授業参加態度 50%、発表内容 50%

6. 教科書および参考書：教材は授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通し

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国文学演習

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：6 **単位数：**2.00 単位

担当教員：講師（非）

コード：LB63206, **科目ナンバリング：**LHM-LIT318J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国近現代文学研究

2・授業の目的と概要：本授業では同時代中国の作家・葛亮の短編小説「問米」の読解を通じて、中国近現代文学の基本的な知識を学ぶことを目的としています。

授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。

3. 学習の到達目標：（1）中国近現代文学の読解力を向上させる。

（2）中国近現代文学を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

（3）わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおり。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答（1）

3. 発表と質疑応答（2）

4. 発表と質疑応答（3）

5. 発表と質疑応答（4）

6. 発表と質疑応答（5）

7. 発表と質疑応答（6）

8. 発表と質疑応答（7）

9. 発表と質疑応答（8）

10. 発表と質疑応答（9）

11. 発表と質疑応答（10）

12. 発表と質疑応答（11）

13. 発表と質疑応答（12）

14. 発表と質疑応答（13）

15. 発表と質疑応答（14）

5. 成績評価方法：発表への取り組み 50%・授業参加度 50%

6. 教科書および参考書：テキストは授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：指定したテキストの授業当日の該当箇所を予習してくる。また、宿題をやることを中心に復習を徹底すること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国文学演習

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：矢田 尚子

コード：LB65204, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語と中国語

1. 授業題目：楚辞文学研究

2・授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

3. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

5. 成績評価方法：授業参加態度 50%、発表内容 50%

6. 教科書および参考書：教材は授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通し

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学演習

曜日・講時：月曜 5 限

セメスター：5 **単位数：**2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB51504, **科目ナンバリング：**LHM-LIT339J, **使用言語：**日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2・授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

3. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

輪読形式で進める。

＜進度予定＞

第1回 ガイダンス

第2回 研究論文1 (1)

第3回 研究論文1 (2)

第4回 研究論文1 (3)

第5回 研究論文1 (4)

第6回 研究論文2 (1)

第7回 研究論文2 (2)

第8回 研究論文2 (3)

第9回 研究論文2 (4)

第10回 研究論文3 (1)

第11回 研究論文3 (2)

第12回 研究論文3 (3)

第13回 研究論文3 (4)

第14回 研究論文3 (5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学演習

曜日・講時：月曜 5 限

セメスター：6 **単位数：**2.00 単位

担当教員：張 佩茹

コード：LB61501, **科目ナンバリング：**LHM-LIT339J, **使用言語：**日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2・授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

3. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

輪読形式で進める。

＜進度予定＞

第1回 ガイダンス

第2回 研究論文4 (1)

第3回 研究論文4 (2)

第4回 研究論文4 (3)

第5回 研究論文4 (4)

第6回 研究論文5 (1)

第7回 研究論文5 (2)

第8回 研究論文5 (3)

第9回 研究論文5 (4)

第10回 研究論文6 (1)

第11回 研究論文6 (2)

第12回 研究論文6 (3)

第13回 研究論文6 (4)

第14回 研究論文6 (5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：